

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2024年度)

施策コード	23
-------	----

まちづくりの方針	2 教育・文化・人権							
施策	3 歴史・文化・芸術							
施策のめざす姿	郷土の歴史や文化・芸術への関心が高まり、市民がまちに愛着と誇りを感じています。さらに、歴史・文化資源を守り、育て、継承していくとともに、本市の魅力として発信することで、地域の活性化につながっています。							
まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
郷土の歴史・文化への関心の向上に満足している市民の割合(%)【社会教育課】	16.0	—	—	—			20.0	25.0
施策の方針	担当課	実績・成果						
		今後の方向						
1 文化財等の保存・継承・活用	社会教育課	堀田家住宅で企画展を開催した。尾張津島天王祭用具修繕事業については、令和4年度は市江車の修繕のみ実施となり、津島車の修繕は実施しなかったが、引き続き計画的な修繕ができるよう関係各者と調整した。						
		堀田家住宅の観覧者数を伸ばすため、定期的に企画展等を行っていく。尾張津島天王祭用具修繕については、引き続き、保存団体と修理の相談・調整を行う。尾張津島秋祭り調査事業については、調査委員会にて実施していく。						
2 文化・芸術活動の支援・奨励	社会教育課	文化祭美術展は、例年通り開催したほか、芸能交流会なども感染対策を講じて開催した。						
		文化祭美術展及び芸能交流会を引き続き開催することにより、当市のさらなる文化、芸能技術の向上や文化・芸能活動の振興に寄与するとともに、創作意識の喚起を図るため各文化・芸能団体の活動を支援していく。						
3 歴史・文化資源を活用して地域の魅力を磨き上げ・発信【重点】	シティプロモーション課	市の地域資源の一つである寺院等の協力の下、「津島てら・まち御縁結び」を開催した。また、名古屋鉄道株式会社とタイアップして、来訪者に市内を歩いて回っていただく「つしまちあるきキャンペーン」を実施した。新聞記者への積極的な情報提供により、新聞で報道されたことで、多くの人に周知・PRすることができた。						
		引き続き、当市の観光資源を活用した地域の魅力の磨き上げとなる事業を実施するとともに、市内外へ積極的に情報発信する。						

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	郷土の歴史や文化・芸術への関心を高め、市民がまちに愛着と誇りを感じられるよう、堀田家住宅を展示施設として活用した。堀田家住宅については毀損箇所の修繕を行い、令和6年度の尾張津島天王祭用具修繕(筏場車・宵狭間)の修繕に向け調整を行い、歴史・文化資源を守り、継承できるよう取り組んだ。また、文化祭美術展や芸能交流を開催し、文化芸術活動を支援した。	評価
			B
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	市民に郷土の歴史などへの関心を深めてもらうため、普及啓発に努めることが必要となる。市民がまちに愛着と誇りを感じられるよう、文化財の保存・修理の支援を継続し、歴史・文化資源を守り、継承していく。また、文化祭美術展の開催を継続し、多くの市民が様々な文化・芸術の鑑賞や体験を通して、身近に触れる機会を提供する。	方針
			継続